

研究課題名	ICUにおけるポータブル胸部X線動態撮影の新規有用性について
研究期間	実施許可日～2030年12月31日
研究の対象	以下の基準をすべて満たす方 2025年5月20日～2028年12月31日の間にICUに入室した方のうち、48時間以内に急性呼吸不全のため人工呼吸管理が必要となった方
研究の目的・方法	<p>研究目的：</p> <p>ポータブルX線撮影では、検査室までの移動が難しい患者さんでもベッドに寝たまま検査を行うことができます。現在ではICU入院中の患者さんに対して、肺炎やチューブの位置確認を目的として検査が行われています。2025年5月に新しく導入された装置により、動態撮影もできるようになりました。動態撮影とはコマ撮りした画像を連続表示することで、動画として表示することです。動態撮影は肺や横隔膜の動きなどの評価に有用であると考えられます。これまでの静止画像では見ることが難しかった動きの情報を取得することで、患者さんの負担が少なく、より精度の高い評価ができる可能性があります。</p> <p>研究の方法：</p> <p>通常の診療の一環としてポータブル胸部X線動態撮影を行い、肺や横隔膜の動きを評価します。研究に必要なデータは、カルテから患者さんを特定できる情報は記載せずに収集させていただきます。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、病歴、身長、体重、血液検査結果、画像データ、転帰、人工呼吸器の設定、抜管前のSBTの方法等</p> <p>試料：なし</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 救急集中治療医学 教授 志馬伸朗</p>
利用または提供を開始する予定日	2025年10月10日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科救急集中治療医学 教授 志馬伸朗</p>
その他	
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じること

はありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。

なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 診療支援部 画像診断部門

担当者：秋山怜那

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-3449